

平成30年度 評価報告書

平成31年3月22日

加治木ゆなの木保育園

園長 正村 幸雄

先日は、保育園に関するアンケートのご協力ありがとうございました。

本園保育士の自己評価とあわせて、結果報告をさせていただきます。

本園の現状をご理解していただく参考になれば幸いです。

今後とも結果を基に、より良い保育を行うように努めて参ります。



1. 本園の保育方針

- 一人ひとりの子どもが安心して園生活を送れるように信頼関係を築く。
- 遊びを通して心身発達を促す環境作り。
- 伝承の文化を活かした保育。
- 楽しい食事で健康に。
- 保護者と園が力を合わせる子育て。

2. 保育目標

- 健康で情緒が安定し、基本的生活習慣の自立が出来る子ども。

3. 重点的に取り組む目標、計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、職員自らが客観的に自己、自園を見る目を養い、保育内容の確認、資質向上に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

- 保育計画と内容…毎年指導計画の検討を行い、園の保育方針・子どもの発達段階に即した内容になるように保育指導案を作成し、月末に反省と共に評価を行い、保育に活かせるようにしている。また、0・1・2歳児は、保育所保育指針に基づき個別計画を作成している。
- 保育のあり方、子どもへの対応…一人ひとりの子どものよさを認め、保育士が客観的に子どもを見る目を養い、発達に応じた援助に努める。肯定的な声掛けを行うことで子どもの自己評価を高める。子どもが示す様々な欲求に適切に対応し信頼関係を築く。子どもに強制するのではなく子ども自らが気付き活動できる。

- 環境の構成…保育室、園庭の遊具が安全かつ清潔であるように毎月点検表に基づいた点検をし、必要に応じて清掃、修繕、補修を行っている。また、子どもが安定して遊び、興味関心、創造性を育む環境構成を心掛けている。

研修・資質向上…臨床心理士と共に子どもの発達についての園内研修を月2~3回ほど実施し、一人ひとりの子どもに合った援助に繋げている。園外の研修参加、園内研修等を行い、専門性を高めると共に研修内容を総括し、全ての職員が研修内容を理解し、自己課題の分析、保育技術の向上に努めている。

保護者への対応…保護者と連携を取り、必要に応じて相談等を行い子どもの成長を共に考え見守る様に努めている。保護者からの意見や相談に誠意を持って対応するよう心がけている。苦情については「第三者委員会」を設置し、張り紙などで告知し、常時、利用できるように努めている。

5. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども達一人ひとりが、より良い環境の中で安定した保育を受けられるように保育計画や保育記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価する。

今年度、評価した結果に基づき、職員一人ひとりが、園内外の研修などを通し資質及び専門性の向上を図り努めていきたいと思ひます。また、遊びの重要性を保護者へも十分に理解していただけるように保護者会などを通じ伝えていく。

6. 今後の目標、課題

「子どもの育ちをとらえる視点」、「自らの保育をとらえる視点」を持ち、より良い保育を目指し、現在の状況に満足することなく、研修参加等、自己研鑽に努める姿が見られました。

今後も職員一同、より一層努力していきたいと思ひます。

保護者アンケートを行うことで、保護者の満足度、求められる保育園の姿など把握し確認することができました。少数意見も貴重な意見とし、職員間で話し合い、共通理解することで保護者に満足していただけるように努めていきます。

※保護者の方のアンケート結果は、下記の通りです。(回収率：72%) 整数で四捨五入しています。

	A	B	C	D
① 本園の教育方針を理解している	62	38		
② 子どもさんは、保育園に行くことを楽しみにしている	78	16	3	3
③ 保護者は、安心して保育園に通わせている	81	19		
④ 保育園は、園児を理解し、園児の育ちを援助している	68	32		
⑤ 当園の行事(入園時、配布しおり参照)は園児にとって充実した物になっている	57	30	5	8
⑥ 職員に子育てや相談事を気軽にできる	57	37	3	3
A:あてはまる B:大体あてはまる C:あてはまらない D:わからない (%)				

すべての項目で「あてはまる」「だいたいあてはまる」の評価を頂きました。

園の方針をご理解して頂きありがとうございました。

貴重なご意見、質問も頂きました。

《保育内容について》

◎体操、楽器、そろばん、スイミング等保育の中で行って欲しい

保育園の保育方針として、主体的な子どもを育てるためには、一斉活動のような子どもが大人にさせられる活動ではなく自らしようと思うことが大事だと思っています。子どもは、「楽しいなあ」「またしたいな」と思うことを何度でも繰り返し行います。気づかないうちに自分を発達させようとしています。私たちは、子どもの発達を考え今子どもたちに必要なことを提供しています。保護者会などで申し上げている様にご質問のような活動を園では行いません。必要と考えていらっしゃる保護者の方は、保育外の時間に個人的に通われてください。

保護者の皆様が参加される保護者会や、総会などの機会に、もう少し当園方針をご理解いただけるようにいたします。

《行事について》

◎発表会などの行事が他の園と比べると少ない気がします。

子どもにとって一番大切なことは『遊び』です。『遊び』を通して社会性・創造性・問題解決能力等、将来必要となる力をつけます。遊具の貸し借り一つでも相手の気持ちを汲み取り、その場に合った言葉を使うことでコミュニケーション能力を育てます。また、園で行う行事は、普段の保育の中で無理のないように考え、行っています。

《体操服について》

◎夏場は、体操着があればいいと思う。

保育園では、子ども達が思い切り遊びまわられるように体操服など指定したものはありません。

汗をかいたり汚したりした際、必要に応じて着替えをします。特に夏場は、汗を多くかくので何回も着替えます。

必要であれば体操服に近いTシャツやズボンで登園させてください。

《避難訓練について》

◎万が一避難しなければならない状況になった時、何処に迎えに行けばよいのか。

毎月一回、火災・防犯・津波等それぞれの災害に応じた避難訓練を行っています。火災の場合は、園の駐車場へ避難をしています。津波が起きた場合は、園の近くの加音ホールの上階に避難する訓練をしています。

非常時にはマメールで連絡します。

貴重なご意見ありがとうございました。

「安心して預けることが出来ました」「丁寧に保育してもらっている」「食育が充実している」「園の行事の楽しさを伝えてくれる」など本園の方針をご理解していただいた嬉しいご意見も多数いただきました。保育園の保護者全員にそのように感じていただけるように今回の結果を踏まえて職員一同、日々努めていきたいと思ひます。アンケートのご協力ありがとうございました。

苦情相談等は、下記の委員まで(園でも、相談や苦情も受け付けます)

第三者委員

岩下 吉廣 0995-63-2811

本多 剛 099-222-3188

